瑞穂中学校だより

【学校教育目標：ふるさとを愛し
心身ともにたくましく 主体的に学ぶ生徒の育成】

令和4年12月15日（木） NO. 27　文責：校長 柏原 哲郎
HP アドレス https://www.unzen.ed.jp/mizuhochu

人権集会特集

12／8（木）に、本校の人権集会を開催しました。これまで取り組んできた人権学習の成果や学校生活に関するアンケート結果等を発表し、人権意識をさらに深める機会としました。人権集会の成功に向けて学級・学年、そして学校の中心となって頑張ってくれた人権実行委員を紹介します。

3年	◎ 鹿田　杏さん	○ 鳥山 結海さん	宮﨑 瑠惟くん	永尾 知帆莉さん	山口 然里くん
2年	竹田 優輝くん	島田 春奈さん	雪屋 晴香さん	松田 篤典くん	
1年	村上　庵くん	前田 理乃さん	山下 友輔くん	西園 芽依さん	

※ ◎は実行委員長、○は実行副委員長

最初に校長からは、「今日の人権集会を含めたこれまでの人権学習での学びは、みなさんの心を鍛え、成長させるためにあります。別の言い方をすれば、人権学習を通してこれまで以上に人に優しく出来るようになったかということです。・・・今日の人権集会で、改めて自分を見つめ直してほしいと思います。きっと優しくなった自分がそこにいるはずです。先生はそう思っています。そして、優しくなったみなさんのこれからの行動に期待します。」という話をしました。

そして、実行副委員長の鳥山さんの「優しさにあふれる明るい学校にしていきましょう。」の呼びかけで人権集会がスタートしました。

最初は1年生より「アイマスク・白杖体験」を通した体験学習を踏まえ、視覚障害について調べたこと、その特徴や対応及び支援の方法等を詳しく教えてくれました。そういった、人権・福祉に関する学びから、福祉とは「人が人を支えること」という思いを強くしたようです。

次の2年生は認知症についての学びを3部構成で発表しました。1部は認知症についてでした。雲仙市や瑞穂町の高齢化率や心理的特徴及び認知症につながる状況、そして認知症そのもの、その接し方について教えてくれました。2部は認知症のおばあちゃんに対する「オレオレ詐欺」の様子をロールプレイで示してくれました。3部は認知症予防体操であるコグニ体操を実演してくれました。そして、その体操を全員で練習しました。レベルが上がるにつれて難しくなりましたが、みんな一緒に頑張っていました。

3年生は、手話体験で身に付けた手話による「おはようございます」「こんにちは」「こんばんは」等の簡単なあいさつの仕方を紹介し、それをみんなで一緒に練習しました。そして、手話による「エール」の発表がありました。手話による歌唱に何となく心温まる気分になりました。また、生徒の手話習得の速さに驚くばかりでした。

次に、実行委員による人権アンケートの集計結果の発表がありました。その中の2つについての結果を紹介します。

問　あなたは学校生活が楽しいですか？

「楽しい」が　69.4%で、「まあまあ楽しい」が27%です。残り3.4%は「あまり楽しくない」「楽しくない」となります。3.4%の生徒（5名程度）がひょっとすると傍にいるかもしれないという思いで、その声をみんなで吸い上げ、寄り添うことが必要になると思います。

問　あなたは誰かが嫌なことをされているのを見たことがありますか？

「ある」が14.4%、「ない」が85.6%です。少なくとも14.4%の生徒（17名程度）が、誰かに嫌なことをする（した）ということです。「自分かもしれない」という当事者意識をもって、時には自分の言動を振り返ることが必要ではないでしょうか。

結果発表の後には、人権委員による寸劇がありました。内容は、ちょっとしたことでグループラインから友達を「はずす、はずさない」の問題となり、先輩を交えていろいろ相談するというものでした。結局、はずすことはなく終わりましたが、よくある話題であり、生徒も身近に感じたことでしょう。ひょっとしたら同じような経験がある人もいるかもしれません。

そして、次の瑞穂中学校人権宣言が示され、全校生徒の拍手により採択されました。

人は、誰もが一人の人間として尊重される存在です。私たちは皆、差別や偏見を受けることなく、幸せに暮らす権利があります。私たち瑞穂中学校の生徒は、お互いのことを考え、支え合える集団となり、一人一人が笑顔で安心して過ごすことができる学校を目指します。そして、全校生徒の考えを踏まえ、一人一人の人権を守ることをここに宣言します。

一、 私たちは、相手を思いやり、積極的に関わり合い、周りの人と協力します。

一、 私たちは、お互いの考えや個性を認め、誰に対しても平等に接します。

一、 私たちは、自ら進んであいさつや声かけを行い、自らの発言に責任を持ち、仲間を大切にします。

一、 私たちは、自分自身がきちんとするように努め、困っている人を見逃しません。

以上、努力していくことをここに宣言します。　　2022年12月8日　瑞穂中学校生徒会

最後は、実行委員長の鹿田さんが「今日、学んだことを活かして、困っている人に手を差し伸べたり、誰にでも平等な接し方をして、いじめや差別もなく誰もが生きやすい世の中を創っていけるよう一人一人が努力していきましょう。」というメッセージで人権集会を締めくくりました。とても有意義な人権集会になりました。ありがとうございました。